

みなさまの学校や公民館などへ出かけます!!

ユニセフ出前学習会



世界の子どものこと、ユニセフの活動のこと、また世界の現状などを参加型で学ぶ学習会（開発教育）です。

内容は、ゲームやクイズ、体験、DVD視聴など、対象者や人数に合わせて、ご相談しながら組み立てます。お気軽に事務局までご相談ください。

* 開発教育（国際理解教育）・・・参加体験型の学習会です。知識だけでなく、「考える」「実行する」「他を思いやり理解し合おうとする」という視点を大切にしています。



水がめ運び体験中

ボランティア募集!!

ユニセフの活動はすべてボランティアの方によって支えられています。

秋はイベントがいっぱい。
鳥取県ユニセフ協会も右記のイベントに参加し、ユニセフ活動を紹介します。
ブース出店の事前準備、当日スタッフなどボランティアを募集中です。
少しの時間でもOKです。
まずは事務局にお問い合わせください。

みなさまのお力をおまわしています!!

[今後の活動予定]

- 子ども向けユニセフ学習会「世界の貧困問題を考える」
7月28日(火) 9:00~15:30 (鳥取市 マザンか会館)
- 八戸ー国際交流フェスティバル
9月21日(月・祝) 11:00~15:00 (米子市文化ホール)
- 大山まきは祭
10月4日(日) 10:00~15:00 (大山まきはみるくの里)
- せいきょうまつり
10月25日(日) 10:00~14:00 (北栄町お台場公園)

賛助会員募集!

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によってご支援いただく方法です。現在、鳥取県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。鳥取から世界の子どもたちを支えましょう!!

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会月より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限ります。

■ ユニセフライブラリー

ユニセフの活動を紹介するビデオ・DVD・パネル・学習教材等の貸出しを行っています。

■ ビデオ・DVD

「ユニセフと地球のともだち」「すべての子どもに教育を」「シユンシユンー子どもたちからのメッセージ」など

■ パネル

「ユニセフってなあに」「わたしも学校に行きたい」

■ 学習教材

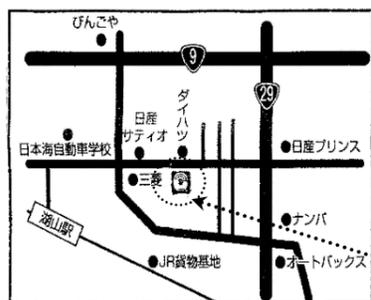
「地図でユニセフ」「地球のともだちユニセフワークブック」
幼児向け絵本「ちきゅうからのしつもん」など

■ 展示ツール

ネパールの水がめ、マラリア対策の蚊帳、経口補水塩など

鳥取県ユニセフ協会

〒680-0931
鳥取市岩吉175-4 鳥取県生協内
TEL : 0857-30-4535
FAX : 0857-31-3330
E-Mail : unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp



ボランティア登録、資料貸出、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

月・火・金 10:00~16:00
水 10:00~12:00

鳥取県生協本部1階内になります!

とっとりユニセフ通信

vol. 4

2015年7月

unicef Report ▶▶▶ 世界の子どもたちは今・・・

ネパール大地震 緊急支援が必要な子ども 170万人以上

現地事務所より、日本のみなさまへ



日本のみなさま。ユニセフ・ネパール事務所代表の穂積智夫です。ネパールは、4月25日に発生した大地震で、甚大な被害を受けました。被災した各地で電気や通信、交通網が遮断され、その全容はまだ明らかになっていませんが、かなりの範囲にのぼることが想定されます。多くの子どもたちの平和な日常が一瞬のうちに奪われました。

子どもたちの命を守るために、安全な飲み水やテント、衛生環境の確保などの支援が一刻を争う状況です。

多くの場所で安全な飲み水が確保できない状況の中、水を媒介にする病気が、子どもたちの最大の脅威です。被災された多くの方々は、今はとにかく、日差しや雨を避けることだけで精一杯の状況です。私たちは、今後、日を追うにつれ支援の必要性が拡大するとみています。ネパールの子どもたちは、大地震が起こる前から、健康や栄養面で様々な困難に直面していました。災害への備えも十分ではない中で発生した大地震は、その困難をさらに増幅させました。約170万人の子どもたちが、今、支援を必要としています。

私がフィリピンでユニセフの代表をしていた一昨年(2014年)の11月、超大型の台風がフィリピン中部を襲いました。未曾有の被害をもたらしましたが、日本をはじめ世界中から大変大きな支援が寄せられました。お陰様で、私たちも、フィリピンの子どもたちに、多くの支援を届けることができました。

ユニセフ・ネパール事務所のスタッフ自身も被災者です。でも、地震発生以降、みんな不眠不休でがんばってくれています。ぜひ、日本のみなさまのお力添えをお願いいたします。



© UNICEF/2015/Panday

地震の被害にあった中学校で、瓦礫の中から見つけた教科書を読む13歳の女の子。



© UNICEF Nepal/2015/KPage

5週間ぶりに学校が再開。ユニセフは仮設の学習センターの設置や教材の提供、教員への訓練などの支援を実施しています。

国連児童基金(ユニセフ、UNICEF)は、過去25年間で小学校の就学率が64%から95%以上に改善したネパールの教育環境が今回の地震で悪化する恐れがあると警告しています。

いまだ学校に戻ることができていない98万5,000人の子どもたちのために、やるべきことはたくさん残されています。こうした子どもたちは、学校を退学してしまう危険性がとても高い状態です。今回の2度の地震で合計3万2,000の教室が倒壊し、1万5,352の教室が被害を受けました。ユニセフは教育省やパートナー団体と緊密に連携しながら、安全な教育環境や子どもたちへの心理的サポートを確保し、できるだけ早くすべての子どもを学校に戻すために活動しています。

(公財)日本ユニセフ協会HPより



■ ゆうちよ銀行 募金口座

振替口座 : 00190-5-31000
口座名義 : 公益財団法人 日本ユニセフ協会
* 通信欄に「ネパール」と明記願います。
* 窓口での振り込みの場合は、送金手数料が免除されます。

緊急 URGENT ネパール大地震緊急募金

活動報告

打吹スカウト育成会 募金活動

2015/2/22(日) 長谷観音市にて



ボーイスカウト倉吉第4団とガールスカウト鳥取県第4団で、倉吉市の長谷観音市にて、エボラ出血熱緊急募金を行いました。春のような陽気で、人通りも多く、たくさんの方にご協力をいただきました。



ラブウォーク in 鳥取

2015/5/16(土) 倉吉白壁土蔵群にて



スタート時はあいにく小雨が降っていましたが途中から雨もあがり、昨年に続きレトロな街並みが残る倉吉白壁土蔵群周辺を歩きました。

5か所のポイントでは、ガールスカウトの子どもたちに街並みのガイドをもらい、ユニセフボランティアがユニセフクイズを出しました。最後のポイントでは、地元名物のたい焼き屋に寄って、あつあつを楽しみながらゴールしました。

また、ネパール大地震緊急募金にもご協力いただきました。



チェックポイントで、大岳院と玉川を紹介しました。みなさんに聞いてもらえてうれしかったです。倉吉のことをもっと知ってほしいと思いました。(小6 A・S)



ガールスカウトとして参加し倉吉出身の(故)横綱琴櫻の紹介をしました。私の知らないことがあったので勉強になりました。(小5 A・M)

2/12(木)、13(金) 事務局長会議

日本ユニセフ協会 ユニセフハウスにて開催。日本ユニセフ協会からの報告等のほかに、講演会では、元国連職員の久保田純氏から、ユニセフで働いた30年間に体験した様々な話をお聞きしました。

4/20(月) 第3回 役員会

役員会(理事会・評議員会)を鳥取大学広報センターで開催しました。ガールスカウト鳥取県連盟の活動報告のほか、ボランティアによる識字ワークショップ、出前授業等を役員の方に体験していただきました。



←ガールスカウト鳥取県連盟の活動報告



▲ 識字ワークショップ体験
ネパール語で水・薬・毒と書いてあるコップ。どれを選びますか?



← 出前授業のようす

3/8(日) 第11回 かぶりあ祭

米子市男女共同参画センター「かぶりあ」にて、ユニセフ活動を紹介する展示を行いました。



ボランティア活動あれこれ

鳥取県ユニセフ協会では、募金活動のほかに、ユニセフのこと、世界の子どもたちのことを広く知っていただくために、学習会やパネル展開催、イベントでの啓発活動などを行っています。このような活動は、年間計画をもとに、ボランティアが集まり準備をして当日を迎えます。

では実際に、東部で開催された4/26(日)「アースデイ2015 in 空山」のブース出店までの様子を見てみましょう!

2/20(金) 東部ボランティアの初顔合わせをしました。すでに、アースデイへのブース出店が決まっており、参加できる方を募集しました。

3/23(月) アースデイに向けて、展示とステージ発表の内容を具体的に検討しました。

4/17(金) この日はアースデイの準備をしました。展示物の準備、ステージのクイズも手作りです。

4/26(日) アースデイ当日。場所は空山ポニー牧場、お天気もよく気持ちのいい一日でした。



ブースでは支援ギフトの展示と募金箱を置きました。



ステージ発表では、ユニセフクイズをしました。

中部で開催されたラブウォークでもボランティアが準備から当日運営を行いました

ラブウォークにボランティアとして参加し、受付をしたり飲み物や参加賞を配るなどの手伝いをしました。体調面から当日ウォーキングへの参加は厳しいと思っていましたが、私でもお役に立ててうれしかったです。(M・K)

定年退職となったのをきっかけに、今年からユニセフボランティアに登録しました。ラブウォークで初めてユニセフ活動に参加し、駐車場係をしました。また、歩き始めたら倉吉の町を再発見したような気持ちになりました。クイズラリーやポイントごとの説明は、歩くことのアクセントになりました。運営もスムーズだったと思います。テレビのCMだけでなく、身近なところでユニセフ活動を知ってもらえるようにすると良いですね。(Y・K)

その他にも・・・

事務局ボランティアをしています。事務局の留守番のほかに、書類の整理や準備、機関紙の発送手伝い、パソコン入力など、簡単な事務局業務のお手伝いが主なものです。‘地道にコツコツ’ですが、鳥取県ユニセフ協会の運営全体の大まかな流れに触れることができます。また、事務局のある県生協本部のアットホームな雰囲気も気に入っています。(K・W)

同じように、西部でもボランティアが活動しています

3/29(日) 西部ボランティア初顔合わせをしました。西部での学習会を提案、「世界がもし100人の村だったら」をすることに決定しました。

4/26(日) 学習会の打合せを行いました。

6/14(日) 学習会当日、46名の参加者の内、米子の2校の高校から部活動の一環として20名の生徒さんが参加してくれました。



開発教育協会(DEAR)教材

昨年の5月にユニセフボランティア学習会が米子市で開催され、参加した事をきっかけにボランティア登録をしました。私の役割は、周りの人達にユニセフ活動について知ってもらおうボランティアの仲間を募る、支援をお願いする事と考えています。ボランティアの仲間の話や行動力に影響を受け「微力の私でも役に立てるかも知れない」等と思っています。何処かで誰かの笑みにつながっていると信じ、初老の身体で続けていきたいと思っています。(J・N)

誰でも自分たちのペースでできるのがユニセフのボランティアです。一緒に活動してみませんか? 現在、鳥取県でのボランティア登録者数は、東部12人、中部8人、西部12人です。お問い合わせは、裏面の鳥取県ユニセフ協会事務局まで。